

東京都立浅草高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：理科
 対象学年：1 学年
 教科担当者：教員一覧参照
 使用教科書と教材は別紙を参照
 該当教科と科目の目標

- 【知識及び技能】学習指導要領で示された内容を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】学習指導要領で示された内容について表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】学習指導要領で示された内容について日常生活に活用しようとする態度等を身に付ける。

単位数を入れると時数が自動的に出ます。

単位数 2

月	指導項目・内容	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	予定時数
4月	単元名：生物の特徴 知：生物の特徴を理解する。 思：生物の特徴について表現する力を身に付ける。 学：生物の特徴について、生物学の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・地球上の生物に共通する生体構造と役割を理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	2
5月	単元名：遺伝子とそのはたらき 知：遺伝子とそのはたらきを理解する。 思：遺伝子とそのはたらきについて表現する力を身に付ける。 学：遺伝子とそのはたらきについて、生物学の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	・呼吸とエネルギーの産出、光合成の仕組みについて理解する。 ・遺伝子のはたらきについて理解する。					8
6月		・遺伝子がどのようにして子孫に伝わるかを理解する。					4
7月		・遺伝情報からどのようにしてタンパク質が合成されるかを理解する。					6
8月							0
9月							6
10月	単元名：ヒトの体の調節 知：ヒトの体の調節を理解する。 思：ヒトの体の調節について表現する力を身に付ける。 学：ヒトの体の調節について、生物学の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・生物の体内環境はどのようにして維持されているかを理解する。					4
11月	単元名：生物の多様性と生態系 知：生物の多様性と生態系を理解する。 思：生物の多様性と生態系について表現する力を身に付ける。 学：生物の多様性と生態系について、生物学の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	・免疫機構について理解する。 ・地球の植物の分布と特性を理解する。					6
12月		・地球の気候と生物の関係を理解する。					4
1月		・生態系内の物質の循環について理解する。 ・生態系は絶妙なバランスの上に成り立っていることを理解し、地球環境を守る意識を高める。					8
2月							2
3月							0